

デジタルとデザインを活用した採用戦略 ～福祉人材の育成と定着～

社会福祉法人博愛会（大分県）
第一博愛寮施設長
法人広報企画責任者
釘宮 謙悟

法人概要

社会福祉法人博愛会



設立

昭和25年3月

事業内容

障害者支援7ヶ所・養護老人ホーム1ヶ所
就労継続支援A型事業としてリゾートホテル
温泉観光施設・大分県立美術館カフェ
レストラン・弁当工場 等運営

事業活動収入 25億（就労支援事業収入6億円）

所在地

大分県大分市・竹田市・杵築市

職員数

160人

支援対象者

500人（うち 就労継続支援A型80人）

人手不足が深刻化し人材確保が困難
当法人でも、採用・育成・定着の問題に直面
従来通りの採用活動に限界



職場環境のデザイン改善とデジタルツールの活用で
新しいアプローチを試みました。



「採用」 「育成」 「定着」
3つの分野で新しい取り組みを実施

少しでも採用活動の参考になるように **10分間**で全て隠さずご紹介します

悪循環に陥ってしまった採用活動

学生に選んでももらえず「採用できない」
職員がたくさん辞めてしまって「定着しない」
人が少なくなり余裕がなくなり教育できず「育たない」

採用できない

定着しない

育たない

求人広告やチラシにお金をジャブジャブ浪費する日々

動画を活用した採用活動セミナーにワラにもすぎる思いで参加 「YouTubeのショート動画」を毎日3本投稿する



博愛会公式YouTubeチャンネルでは、ショート動画を毎日3本更新しています！

1位	2位	3位
<p>高橋夏樹さん アビリンピック金メダルを報告</p> 	<p>レジェンド支援員さん 涙の再会！</p> 	<p>忘年会に マッチョ支援員が乱入！</p> 
<p>栄えある第1位の動画は「第43回全国障害者技能競技大会」喫茶サービス部門で金賞を受賞した高橋夏樹さんでした。</p>	<p>レジェンド支援員の阿部正美さんが20年ぶりに第一博愛寮にやってきました！山本登志子さんが涙を流しながら再会を喜びました。</p>	<p>4年ぶりに開催された博愛会忘年会で支援センターの小野海利さんがマッチョになって大暴れ!?衝撃映像です。</p>



「LINE公式」も同時に活用して学生や求職者にアピール
仕事の楽しさや働いている人の顔が直接見える仕組みをつくる

YouTubeショート動画の編集は必要最低限にする
最近の求職者は動画を全て見て予習してくれている

新事業の進捗含めて隠さずに動画を上げているので
求職者の方が職員よりも新事業を理解している逆転現象が発生

求職者の応募数が増加、面接時の理解度が高い

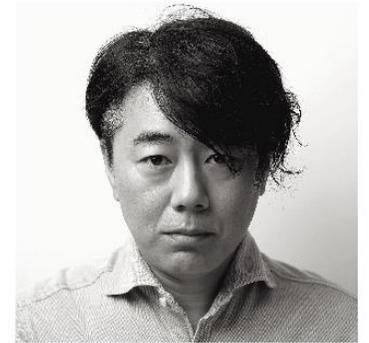


菅谷信一（ネット戦略コンサルタント）

株式会社アームズ・エディション代表取締役
1969年茨城県笠間市生まれ。獨協大学外国語学部卒
(株)日立製作所関連会社、社会福祉法人茨城福祉工場を経て創業
業界キャリア20年間で450件のサポート・コンサルティング実績
ネット集客コンサルティング、講演会・セミナー講師など



同時にYouTubeで発信できる魅力的な職場作りを実施 デザイナーと一緒におしゃれな就労継続支援事業所を作り情報発信



長内研二
長内デザイン室・代表・デザイナー
武蔵野美術大学非常勤講師
JAGDA会員
山小屋バル 西荻ヒュッテ・ディレクター

デザインはキツキテラスや大分県立美術館（OPAM）カフェシャリテのデザイン・ディレクションを担当した長内デザイン室が担当します。

落ち着いた雰囲気では会議や休憩ができるように 入所施設の職員室もスターバックスのようにリノベーション



コーヒーやお菓子を自由に楽しむことができると職員から好評
職員間のコミュニケーションが増えて離職防止に繋がる

魅力的な広報活動を目指し、見やすいホームページを制作
求職者が求めている情報を全て掲載し、最新の活動を常に更新



ホームページの雰囲気古いと「怖くて紹介できない」らしい
写真はとても大事なのでプロのカメラマンに依頼する

採用の取り組みについて④

広報誌はフリーペーパーのように読みたくなる記事と内容 メインターゲットを求職者の学生に定めて作成



裏テーマである「職員のモチベーションアップ」につながるよう
頑張る職員の笑顔をたくさん入れた誌面作りを行う

職員の定着に向けて
シンプルな法人理念を繰り返し説明

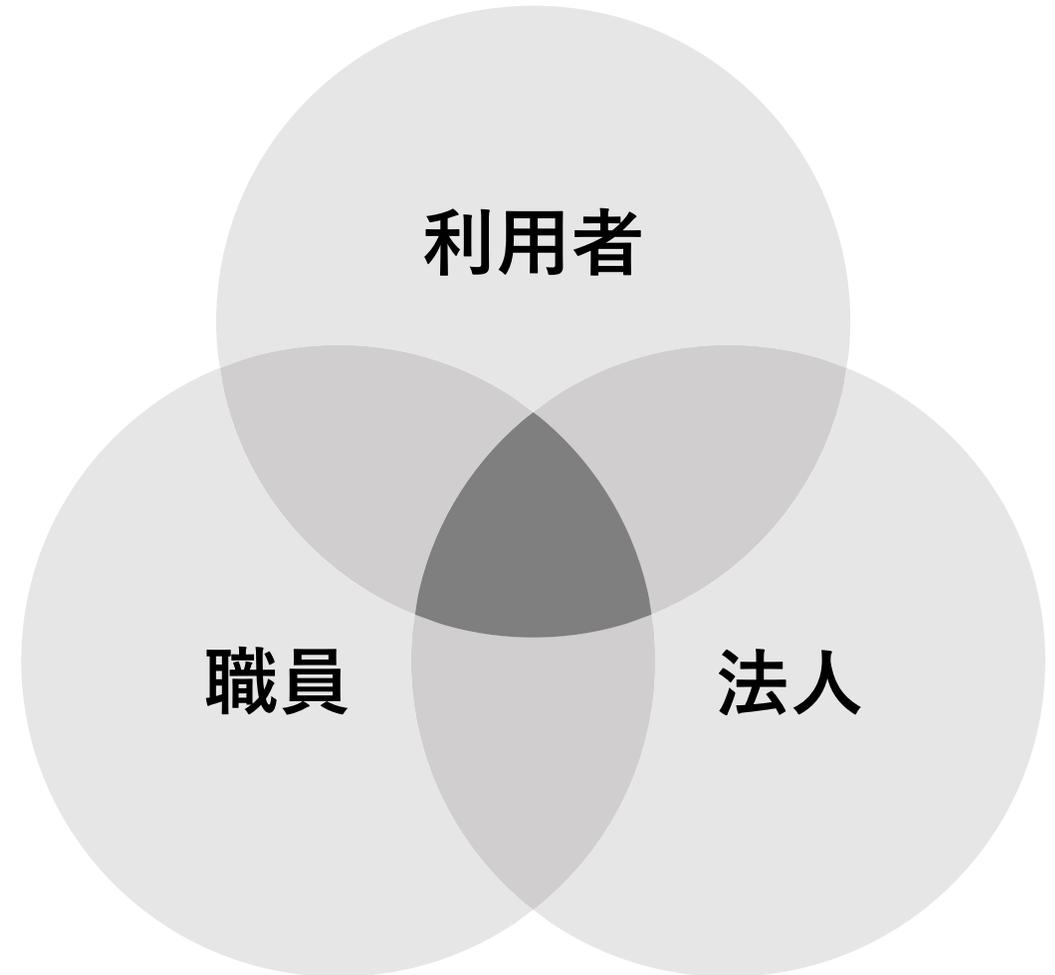


「やさしさ日本一の社会福祉法人」
職員の理念共有・一体感が向上



法人理念に惹かれて
やさしい新入職員が増加

「やさしい先輩が多い」と
口コミが広がり志望者増



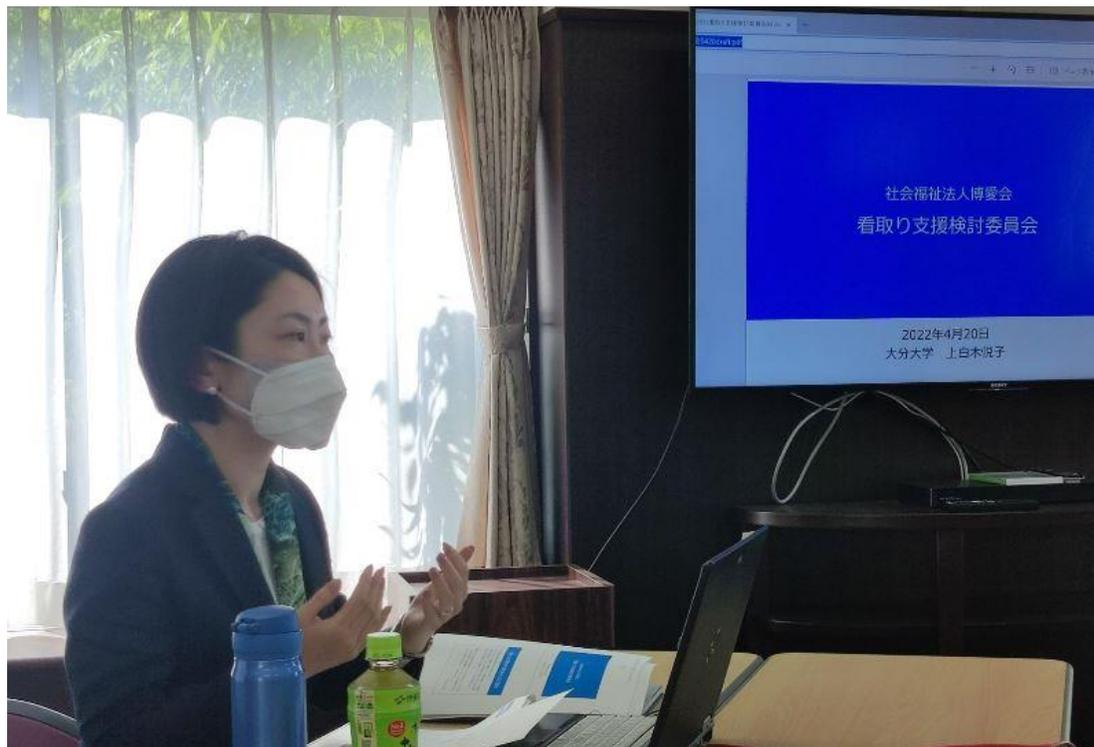
新しい取り組みをどんどん進めて「仕事に飽きさせない」努力をする

取り組み

入所施設での看取り支援を目指す

内容

地元国立大学の教授を毎月招聘しゼミ形式の会議を毎月開催



大分大学で「緩和ケアと終末期医療におけるソーシャルワーク」を研究する上白木悦子教授を招聘

定着の取り組みについて③

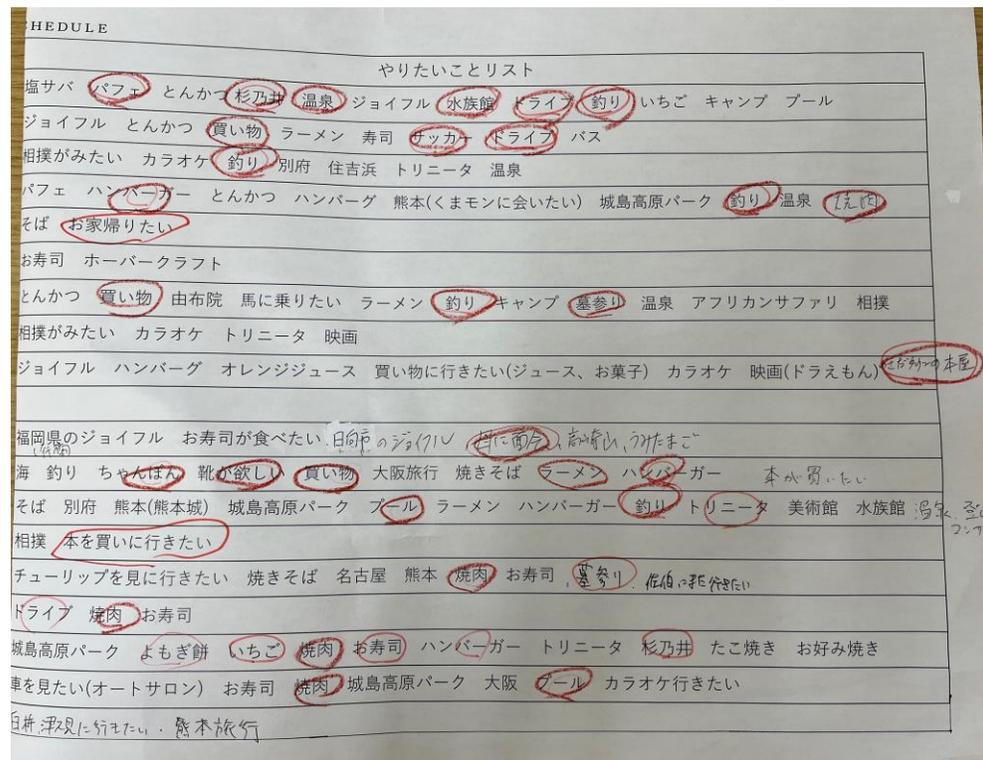
新しい取り組みをどんどん進めて「仕事に飽きさせない」努力をする

取り組み

職員のアイデアを活かす「夢を叶える支援」の実践

内容

「やりたいことリスト」を全員作成して夢を一つずつ叶えていく



利用者の夢を叶えるというポジティブな取り組みにより職員のモチベーションと利用者の人生の質が向上

定着の取り組みについて③

「農業」「ネイルアート」「釣り」「キャンプ」「グランピング」
「パチンコ」「地域のカーブスで筋トレ」「アイドルに会う」など
利用者さんの夢を叶える支援の「ToDoリスト」を作って実践中！



施設の完全個室化・利用者専用レストラン・ノーリフティングケアの実践
新しくて良い取り組みは精力的に進めてYouTubeで紹介する

新人職員の退職につながるカスタマーハラスメント対策

現状
(As-is)

利用者や利用者家族からのエスカレートした
暴言・暴力・セクハラを止められず離職へ

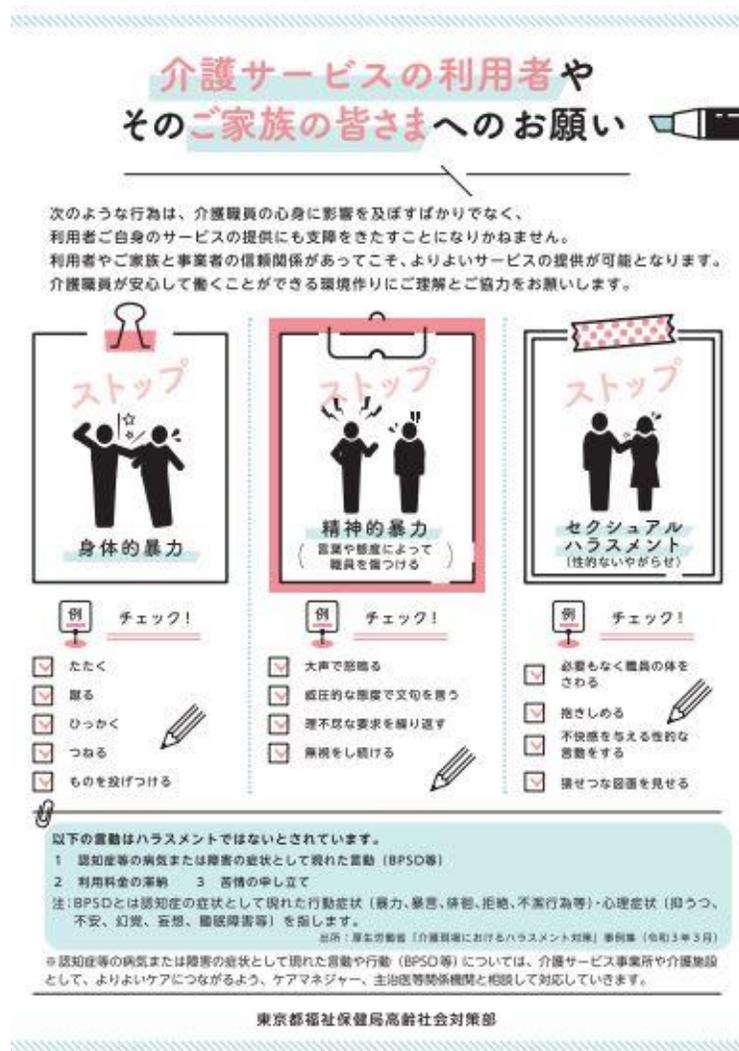
展望
(To-be)

カスハラ(カスタマーハラスメント)の定義をポスターを使い周知
利用者や利用者家族にもお知らせ
カスハラをされる方や家族にはチームで対応

「職員は暴力や暴言など全て我慢しなければならない」からの脱却
職場は盾となって「カスハラから守ってくれる」という安心感

カスハラにはチームで毅然と対応する事を徹底。職員の定着を進める

東京都の介護ハラスメントのポスターを使って啓蒙活動



利用者さんやご家族に対してもご理解をいただくために説明を行う

採用に関する好循環が生まれた理由

新卒職員

「やさしさ日本一の社会福祉法人」を目指して
魅力的な職場になるよう努力し情報発信
→やさしい人が働いてみたい法人になる

職員

普段から法人理念に沿うように
「やさしく」「笑顔」で支援するようになる
→見学の時にやさしい雰囲気施設の施設を見せられる

働いている職員さんが「うちで働いたらどう？」と
友達や後輩などに良い口コミをしてくれるようになる

求人広告やチラシにお金を使う必要がなくなる

やさしさ日本一の社会福祉法人を目指して



法人の取り組みをガラス張り
博愛会YouTubeチャンネル



ご清聴ありがとうございました